



PTA

セミナーだより

令和4年7月吉日
名古屋市立大高北小学校PTA

第1号

日頃はPTAの活動にご理解とご協力を頂きありがとうございます。

世の中はWithコロナの時代へ…ということで、PTAのセミナー等も、本年度から少しずつではありますが再開されるようになりました。PTA会員の代表として参加させて頂いたセミナー等で得た情報を会員の皆様にも共有していけるように、今年度は学期毎にセミナーの内容や参加者の感想などの情報をまとめて、セミナーだよりとして発信していきます。

【5/10 家庭教育セミナー～親学のススメ～】

「寝る子は育つ～子供の睡眠習慣を整える親のかかわり方～」をテーマに、矢間 あやさん（理学療法士、健康経営アドバイザー）を講師にお招きして講演が行われました。

- 睡眠は生きるために必要であるにも関わらず、子どもも大人も睡眠が不足している傾向がある。
- 睡眠で“カラダが育つ”“脳が育つ”“こころが育つ”。
- 親が気をつける睡眠の6箇条 ①朝、一定の時間に起きる ②朝日を浴びる ③体を動かす ④バランスの良い食事 ⑤十分な睡眠時間の確保 ⑥睡眠リテラシー（睡眠教育）を高める

科学的根拠に基づいた睡眠についてのさまざまな話を聞くことが出来ました。特に、睡眠の6箇条は大きなヒントになりました。参考にしながら今一度生活を見直してみようと思いました。

【5/17 名古屋市立小中学校PTA協議会・安全会総会】

名古屋市教育委員会による特別講話が行われました。（“名古屋スクールイノベーション”で検索して頂くと名古屋市の教育方針や改革が分かります。）

- タブレットを活用しての授業、タブレットを活用しての教員と保護者のコミュニケーションなど、タブレットの活用を進めています。
- 校内フリースクール（名古屋市内の中中学校では今期30校）が始まります。
- 2021年冬から交通事故が増えています（子どもに関しては、放課後遊びに行った際の自転車事故が増えています。ヘルメットの利用の徹底をお願いします!!）

子ども達には、使用の際のルールやモラルを確認させながら、家庭でもタブレットにどんどん触れさせて、慣れさせることが必要だと感じました。

また、自転車に乗る際はヘルメット着用が大切だと改めて思いました。

【6/4 第70回名古屋市児童歯みがき大会 歯をまもるよい子の会】

3年ぶりの開催で、歯科衛生優良校の表彰や、5年連続で優良校に選ばれた白鳥小学校の取り組みの紹介などが行われました。（親子参加のセミナーで、ミッフィースマイルコンサートもありました。）

- 以前は6/4が『虫歯予防デー』でしたが、現在は6/4～6/10の期間を『歯と口の健康週間』として歯の健康を守る為の様々な取り組みが行われています。
- 名古屋市の子供達達は全国的には虫歯の少ない傾向にあります。特に小学生では仕上げ磨きをしている保護者が多いことも関係していると考えられます。
- コロナ禍で、学校での歯磨き指導が困難な状況下にある為、家庭との連携や協力がより必要となっています。

健康で丈夫な歯を守る為には、毎日の歯みがきだけでなく、しっかりとした食事で栄養を摂り、規則正しい生活を送ることが大切であるということを親子で参加し一緒に学ぶことが出来ました。

【6/11 父母と教職員の集い】

「誰だって成長できる！～夢を実現する子どもを育てる3つのポイント～」をテーマに、坪田 信貴さん（映画『ピリギヤル』の原作者で坪田塾 塾長）を講師にお招きして講演が行われました。（モデルとなった塾生さんとの当時のやり取りなども交え、3つどころではない盛りだくさんの講演会で、講師の坪田さんも2時間では足りずに最後は本に詳しく書いてありますとおっしゃっていました〈笑〉）

- 目標設定の見直しでは、「**20答法**※という方法を使って親子間での認識の違いが分かる。
- “何でも叶うプラチナチケットがあったら何を望むか…”という例から、自由とは言いながらも今の自分を基準に勝手に枠組みを設定し、限界を決めてしまっている。
- 自己成就予言という方法で、目標を決めたら出来るだけ多くの人に言葉に出して伝えておくと、心が折れそうになった時に頑張ることが出来る（続けざるを得ない状況にする）。
- 直近目標が高く最終目標が低く設定されてしまうことが多いが、最終目標は高く直近目標は低く設定する方が達成しやすい。
* 前ページ参照
- メンタルを強化トレーニングするにはリフレーミングが有効。3か月続けると激変。
- トレーニングの前提は出来ないということなので、それを理解した上で取り組むことが大切。

「結果を出した子が特別だった・才能があった…という訳ではなく、誰もが可能性を持っている」というお話に大きく頷きました。子どもが自分自身のことをどのように捉えているか、そこに寄り添いながら一緒にワクワクする目標設定をしていきたいと思いました。20答法とは自己分析法の1つです。



やってみよう。私の新たな発見。

20答法！

- ① 「私は〇〇です」という文を子どもに**20個**書いてもらいます。同時に親も子どものことを考えて「●●（←子どもの名前）は〇〇です」という文を**20個**書き出します。
 - ② **20個**書いたものを見せ合い、比較してみます。（両者の擦り合わせをする）そこから、親が子どものことをどれくらい理解しているか（親子間での認識の違い）、子どもが自分自身のことをどう思っているかがよく分かります。
- ☆ 幼い子の場合は、親が子どもの答えを予想してから、子どもに質問をします。その時の子どもの様子（即答か「え～っと…」も含めて考え込みなど答え方）にも注目。

【6/30 緑区小中学校 PTA 指導者研究集会】

「PTA 活動の充実・促進を図るための研究～コロナ禍での PTA 活動において・新しい PTA 活動の在り方についての模索～」をテーマに、3校の提案者より健康・安全・地域連携について旗当番やコロナ禍での活動についての発表が行われました。

- 分団登校のルール作りや周知。（時間になったら出発、遅れる子は保護者が学校まで付き添う等）
- 連絡用アプリの活用。
- 未就学児が居る世帯の旗当番の免除。
- 当番日数の不均等は地区以外の 見守り依頼で調整。
- 見守り隊による最後尾や遅れてくる子の確認。
- ボランティアを募ってのトイレ掃除やエアコン掃除の実施。

以上のような、本校でも取り入れていくと良いと思う点がたくさんありました。本校では分団に対して出欠席時の連絡方法など曖昧な部分があるように思うので、マニュアル化して全世帯に周知すると良いと思いました。また、遅れてくる子に関しても、誰かに任せるのではなく、各家庭で責任を持って送り出せるよう仕組み作りが必要だと思いました。

子ども達が安心・安全に通学出来るように意識を高めると共に、保護者の皆さんによる旗当番・見守りボランティア・指導評議員・役員などそれぞれの役割をハッキリさせることで、1人ひとりの負担を減らし、年度替わりのメンバー交代もスムーズに行うことが出来るのではないかと思います。

【7/6 大高中学校ブロックいじめ・問題行動等防止対策連絡会議】

「青少年の健全育成にむけて～家庭・地域・学校の連携強化のために～」をテーマに情報交換しました。

- 緑区は非行・子どもの犯罪が比較的少ない地区。
- いじめはSNSにより分かりにくくなっている為、周りの目が重要。
- 中学校では1年生を対象に、KDDIの方を招いてスマホの正しい使い方についての指導がある。
- 今年度から中学校では校内の居場所づくり（校内フリースクール）として部屋を設け、専属の先生も置いている。不登校の生徒に利用を促しており、他にも利用希望がある。

多くの大人の目で見守ることで、「最近様子がおかしいね」「元気がないね」と気付き、声を掛ける等早い対応が出来ると思います。その為にも親同士の繋がりを小学校のうちに作っておくのは大切だと感じました。

【7/6 子ども安全ボランティア講習会】

「不審者への対応方法等」をテーマとした実技講習と「連れ去り防止対策等」をテーマとした講義と講習が愛知県警察により行われました。

《実技》

「不審者への対応方法」「護身術」などを2人組になって実践しながら学びました。

- 子どもの場合は、とにかくジタバタして空きを作って逃げるという方法になる。
- なかなか離脱が出来ない時は相手に一撃を与え（顔、お腹、すねなどが有効）、怯んだ隙に逃げるという方法になる。

咄嗟にそこまで冷静に判断して行動することは難しいと思うので、まずは腕を掴まれたり、抱きかかえられたりするような状況を生み出さないことが大切だと思いました。また、いざという時を想定して、家族で相談しながら、離脱方法を考えたり、どこに一撃を与えるかを決めたりしておくと思いしました。

《講義》

「市内における犯罪被害状況」「連れ去り防止対策」「不審者情報の提供」などの話がありました。

- 残念ながら、子どもが犠牲になった悲しい事件は県内でも起こっている。
- 事件となる数は減少傾向にあるものの、子どもへの声かけ・付き纏いなどの情報は増加傾向。下に講義内容のポイントを項目別にまとめました。参考にしてみてください。

《情報の分析結果から》

- 犯罪被害は初夏にかけて増加し、夏休み・冬休みは少し減少する。（長期休みは家族と過ごす時間が増えたり、行動が変則的になったりするため。）
- 狙われやすいのは平日の下校時間帯（習い事や遊びに行く時なども含む）が多く、全体の約7割。
次いで登校時間帯。（毎日・毎週、決まった動きで子どもだけで行動する時間帯が狙われやすい。）
- 対象は1人で行動することが増えてくる小学校中学年頃から増加する。
- 発生場所は通学路などの路上、公園等のなどの空き地が多く全体の8割になる。その他マンションやアパートの出入りが自由な場所、公衆トイレなどでも発生しやすい。

“子どもだけの時”は特に注意!!

★事件の事例★

- 車を止めて、じーっと見てくる
 - 携帯電話やカメラで撮影してくる
 - すれ違う時に蹴られる
 - 後ろからランドセルを掴まれる
 - 階段で待ち伏せ
 - エレベーターで腕を掴まれる
 - 声を掛けられる
- 「面白いゲームがあるよ、こっちに来て！」
「お母さんが救急車で運ばれたんだよ、早く車に乗って！」など



次ページに続きます。

《実際の犯人に聞いた話より》

狙いやすい環境とは...

- 対象(子ども)が多い場所
- 人目がない
- 家の近所(外出時・帰宅時を狙う)

犯行を諦める時とは...

- 他の人に見られていた
- 相手に逃げられた
- 他の人に声を掛けられた

“地域全体で見守りを強化する”
“逃げるといふ行動がとれるようにする”
“通りすがりの人にも挨拶をする”
などの対策が有効!!

★防ぐポイント★

① 家族や地域による見守り

+

② 子ども自身の自己防衛能力と 危機回避能力の向上

②に有効な体験型防犯教室を紹介しているそうです。コンセプトは、従来の聞いて理解する防犯教室に“体を使って実践する・体験する”を加えることで、子ども達がより楽しみながら覚え、身に付けられることだそうです。

※ 学校から依頼すれば開催してもらえます。

《怪しい人の見分け方》

優しそうな人でも、もしかしたら知っている人でも犯人かもしれません。

見た目ではなく“動き”で判断!!

- しつこく話しかけてくる
- 急に寄ってくる
- じっと見てくる
- 写真を撮ってくる
- 体を触ってくる
- 付きまとってくる

★防犯となる行動を★

こんな行動をする人が居たら、次のような、防犯となる行動を取りましょう。

- 大声で助けを呼ぶ
- きっぱり断る、逃げる
- 防犯ブザーを鳴らす
(使い方の確認と点検を!)
- 低呼応する、とにかく暴れる

このような行動が出来ると不審者が犯行を実行しにくくなります。

残念ながら力では勝てないこともあるので...

まず、逃げる!!

(プールの縦の長さ位)

そして、大きな声を出そう!!

防犯学習動画の紹介

- 愛知県警ホームページ
- 愛知県警公式 YouTube
- 愛知県警スマートフォン用アプリ
「アイチポリス」動画コーナー

